

パブリックコメント意見一覧及び反映方法

ページ	意見等の該当箇所	意見等の概要	反映方法
P117	<p>【施策①】 鉄道（西鉄天神大牟田線）の機能の強化福岡方面への特急の増便の要望</p> <p>福岡方面への通勤・通学等の利便性を高めるため、朝の通勤・通学時間帯の福岡方面への特急の増便を交通事業者に働きかけます。</p>	<p>夕方の通勤・通学時間帯に福岡天神駅からの急行があるが、特急と急行の時間差も大きい ため同駅出発は特急の6分後と運転間隔が歪 で使い勝手が悪いのが現状。これが例えば特 急になって等間隔（15分に1本）となれば相当 利便性は上がると考えられる。よって特急の 増便要望は「<u>朝夕</u>の通勤・通学時間帯」とす るのが望ましい。</p>	<p>西鉄天神大牟田線については、平成29年8月 にダイヤ改正が行われ、柳川から福岡への特急 と福岡から柳川への最終便が増便されていま す。ご指摘の通り、公共交通での市内外の移動 の利便性向上のための施策として、柳川に帰っ てくる際の事も考慮する必要がありますが、福 岡天神駅からの特急を15分に1回とすること は現状のダイヤからすると難しい状況です。し かし、引き続き、特急の増便要望を行うように 交通事業者へ働きかけます。</p>
P118	<p>【施策②】</p> <p>●鉄道と乗継しやすいダイヤの設定⇒ 鉄道のダイヤ改正に当たっては、鉄道・ バスの事業者間での連携を密にし、柳川 駅で西鉄天神大牟田線（特急）と乗り 継ぎしやすい路線バスのダイヤ変更を 円滑に行います。</p>	<p>路線バスと鉄道の乗り継ぎの充実はずいぶん、実 現していただきたい。時間帯によっては、西 鉄特急と接続していない時間帯があり、とて も不便。これは、通勤通学だけではなく、観 光客にとっても同じことが言える。</p>	<p>路線バスと鉄道の乗り継ぎの充実は通勤通学や 観光による移動の円滑化、また路線バスの利用 の増加にもつながります。ご指摘の通り、現在 の路線バスのダイヤは特急と接続していない時 間帯がありますので（別添資料参照）、事業者 間の連携を密にして、乗り継ぎし易い路線バス のダイヤ変更を努めます。</p>

P119	<p>【施策③】 鉄道駅へのアクセス環境の改善 駅周辺の駐車場・駐輪場の整備 西鉄天神大牟田線の柳川駅等の周辺における駐車場・駐輪場の整備を促進し、鉄道駅へのアクセスの利便性の向上を図ります。</p>	<p>計画の重点ターゲットとして西鉄電車を使った通勤・通学者を挙げられているが、柳川駅西口は送迎用スペースが手狭で周辺道路も運転代行の長時間路上駐車で駅への迎えの車を付けるスペースが充分にない状況。西口にも20分程度無料とする駐車場を設けるか、駅から西鉄ストア方面の道路に停車帯を設けるなどの対策が必要。</p>	<p>西口駅前広場は面積が限られています。他の駅と異なり、バス・タクシー・送迎車両など駅利用を目的とした車両の他に、周辺施設利用のための多くの車両が通行している状況であるため、バスやタクシーなど公共交通機関の待機場や乗降場等を確保するほか、通行帯を分けるなど安全対策を行っています。このため、西口に新たな駐車場スペースを確保することは難しいと考えております。また、駅から西鉄ストア方面の道路は、沿線施設への出入り口が点在していること、停車帯設置により停車と駐車の増加を招き、通行に支障が出る恐れがあることから、現時点で停車帯の設置については厳しいと考えています。</p>

P119	<p>【施策③】 鉄道駅へのアクセス環境の改善 駅周辺の駐車場・駐輪場の整備 西鉄天神大牟田線の柳川駅等の周辺における駐車場・駐輪場の整備を促進し、鉄道駅へのアクセスの利便性の向上を図ります。</p>	<p>商業施設の商品券を購入することで商業施設に月極駐車して電車で通勤通学を促している自治体もある。このような取り組みも行うべきでないか。</p>	<p>福岡県内でも、筑紫野市などでご指摘のような商業施設と連携した公共交通の利用促進施策が行われています。駐車場・駐輪場の整備といったハード面の整備だけでなく、このような既存の店舗駐車場を利用した公共交通の利用促進の取組なども重要ですので、目的や効果を調査研究して施策の参考とさせていただきます。</p>
P119	<p>【施策③】 鉄道駅へのアクセス環境の改善 駅周辺の駐車場・駐輪場の整備 西鉄天神大牟田線の柳川駅等の周辺における駐車場・駐輪場の整備を促進し、鉄道 駅へのアクセスの利便性の向上を図ります。</p>	<p>駐輪場整備は個人経営の駐輪場と競合するから整備しない。とするのではなく、公共駐輪場整備による公共交通利用者増加、放置自転車減少に伴う近隣道路・敷地の緊急車両通行環境改善などの公益性と天秤にかけて整備を進めていくべきである。</p>	<p>放置自転車の問題に対しては、駐輪場を平成26年度に西鉄柳川駅東口で200台分、平成27年度に駅西口で785台分（内バイク用210台分）整備したことにより、従前より駐輪台数が大幅に増加しています。また、シルバー人材センターに管理を業務委託することにより、放置自転車による駐輪場の圧迫や混雑の解消を図っています。今後も駐輪場の状況把握を行い、適正な確保・管理に努めます。</p>
P124	<p>【施策⑧】 沖新線の観光利用の促進⇒路線バスの沖新線は通勤・通学移動のほか、観光移動の手段としての役割を担っています。柳川駅から沖端地区等へのアクセスの確保の観点から路線の充実を図り、観光利用を促進します。</p>	<p>西鉄柳川駅から沖端地区への移動手段の一つである路線バスが西鉄特急と接続していないのは考えられない。観光客が増えている中で、柳川駅からの移動手段の充実は重要であり、ぜひ、見直してほしい。</p>	<p>路線バスと鉄道の乗り継ぎの充実は通勤通学や観光による移動の円滑化、また路線バスの利用の増加にもつながります。ご指摘の通り、現在の路線バスのダイヤは特急と接続していない時間帯がありますので（別添資料参照）、事業者間の連携を密にして、乗り継ぎし易い路線バスのダイヤ変更に努めます。</p>